



オダマキ類 [苧環]

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 園芸品種



科名 キンポウゲ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

日本の高山植物のミヤマオダマキと園芸品種とされるオダマキがあり、細く伸びる花茎に涼しげな花をつける。セイヨウオダマキには、花色や咲き方に多種多様な園芸品種がある。日本産のオダマキが山野草の味わいがあるのに対し、西洋産はカラフルな花をつける品種が多い。



葉



花



花：セイヨウオダマキ



実

Memo

名前の由来は、花の形が苧(カラムシ)と麻(アサ)を巻いた糸玉(苧環/おだまき)に似るため。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
🌸	花期					■								
🍌	果実						■			(花殻とともに摘み取る)				
🌿	紅葉													
🌱	施肥	■			(緩効性肥料がよい)									
✂️	剪定	■											■	

好みの環境			
日当たり	陽	○	陰
土壌	乾	○	湿
寒さ	強	○	弱
暑さ	強	○	弱
潮風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

強い日差しと高温多湿、土壌の乾燥は苦手なので、夏は半日陰になる日向が適地。多年草だが、数年すると衰退してくるので、花後に実る種子をそのまま蒔く‘採りまき’をすると維持しやすい。

剪定

こぼれ種でも自然更新されるが、5～6月に‘採りまき’すると翌年に花をつける。種子を採らない場合は、花が終わったら花殻を摘みとると美観を保てる。

病虫害

夜間に葉を食害するヨトウムシやハダニやアブラムシが発生することがある。